

コンテンツ配信基盤 IPv6化検討WG

へのお誘い

2019年10月17日

にしのだい
くにたけ こういち

本日のプレゼンテーションに含まれる内容などについて

「個人的な主義・主張」が
含まれており、
登場する各組織などの見解とは
若干異なる可能性があります。

※魔法のスライド＝このスライドの後は何を話しても良いらしい

IPv6 アドレス

IPv6アドレスの例

2001:db8:cafe::daed:beef

IPv6アドレスの例

2001:db8:cafe::daed:beef

興味の外側？

今日は、IPv6については話しません。

InternetWeek の講習会とかでよろしく

ちなみに

JPNICさんの
IPv6技術セミナーもいいよ
たまに講師してます。

IPv6社会実装推進タスクフォース



概要
ABOUT TF

ニュース
NEWS

セミナーイベント
SEMINAR EVENT

活動報告等
ACTIVITIES

参加団体
MEMBER

よくある質問
FAQ

ISPの方へ
FOR ISP

CATVの方へ
FOR CATV

IDCの方へ
FOR IDC

ASP/GSPの方へ
FOR ASP/GSP

ユーザの方へ
FOR USERS

その他の方へ
FOR OTHERS

ニュース
NEWS

IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ
～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実装の推進へ～
2018年11月26日
報道関係各位
2011年4月のアジア太平洋地域におけるIPv4アドレス在庫枯渇を迎えるにあたり、2008年9月に総務省及びインターネットと通信サービスに関係する21団体によって構成された業界横断的なタスクフォースである、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（代表：江崎IPv6普及・高度化推進協議会等理事長/東京大学）を、新にIPv6を基礎とするビジネス環境整備を目指した「IPv6社会実装推進タスクフォース」に改名いたします。
IPv6社会実装推進タスクフォースの前身である、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（以下、枯渇TF）は、2008年9月に発足し、総務省及びインターネットと通信サービスに関係する21団体によって構成された業界横断的なタスクフォースであり、IPv4アドレスの未分配在庫が枯渇する局面を避脱なく迎え、円滑なIPv6インターネットの導入を実現するために、IPv6の導入推進に係るアクションプランの制定、普及、テストベッドや教育プログラムの推進、各種情報のタイムリーな発信・展開などの活動に取り組み、できました。
IPv4アドレスの未分配在庫が枯渇した2011年を挟んで、枯渇TF発足から10年が経とうとしている今日まで、サーバネットワーク機能におけるIPv6対応、ブロードバンドや携帯電話キャリアにおけるIPv6サービスの普及など、IPv6インターネットの拡大は進んでいるものの、未だにインターネット上の通信トラフィックの大半はIPv4であることは変わらないため、新しいサービスの基盤がIPv4で構築され続けている現状であり、事業者におけるIPv4アドレス調達必要性、設備や運用における二重のコスト負担などが、好ましくない状況が続いています。
IoTを始めとする新たな技術の出現により、インターネットが更に大きくその有りようを変えつつある今、IPv6の利用を担う前とするインターネット、IPv6インターネットを基盤とした社会を実現して行くことが求められています。
また、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）達成にあたりインターネットの有効活用が前提となる中、米国はもとより、中国、インドもIPv6への対応を急速に進めている一方で、日本では新たな通信基盤への対応遅延が低く、経済発展を阻害する要因にもなりかねない状況とも言えます。
枯渇TFの参加団体はこの認識に基づき、IPv6社会実装推進タスクフォースと改名し、ここに新たなチャーター（活動指針）を設定して活動を推進するとともに、社会実装をより広範囲に展開すべく、あらゆるセクターの参画を促していきます。
○IPv6社会実装推進タスクフォース活動指針
・IPv6を基盤にするビジネス環境を整備すべく、2025年までにIPv4に頼らない持続可能な技術的、社会的、経済的基盤を確立することをゴールとして目指す。
・日本国内で誰もがIPv6を基盤としたインターネットを利用し、さらにはインターネットに関わるすべてのシステムでIPv4運用負荷を削減することで、より安全安心なインフラストラクチャとなるよう、機密、運用ノウハウのマルチステークホルダーによる共有、実験・検証環境の提供、人材育成のための教育プログラムの企画や運営などを行う。
・現在インターネット上で展開されているビジネスやサービス、アプリケーションが、今後のIPv6を基盤としたビジネス環境へ移行可能であるかあらゆるステークホルダーとともに検証、共有する。
○想定している活動
・通信事業者及び関連団体の対応進捗状況の把握
・関連団体、組織への専任と情報提供
・IPv6シングルスタック検証環境の構築
・IPv6教育プログラム、セミナーの企画、推進
・IPv6シングルスタック検証環境等を活用したビジネス継続性評価
・産業界、経済界全体への啓発、促進
・IPv6対応国際的な業界等の売り出しと対応策の提供
その他に、国内外のIPv6動向把握および日本から世界に向けた情報発信を適宜行っていく。



ニュースリスト

・日本におけるIPv6普及率について
～固定アクセス網50%超、携帯電話も17%に達する～

・IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ
～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実装の推進へ～

・World IPv6 Launch 6周年と日本のIPv6普及状況

・日本におけるIPv6アクセス網の普及率が30%を突破

・日本におけるIPv6アクセス網の普及率が20%を突破

・IPv6のさらなる普及と展開に向けた報告会の実施について

・「日本再興戦略2016」においてIPv6対応促進が盛り込まれる

・「IoTネットワークプログラミングワークショップ」開催のご案内

・「IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会、第4次報告書」が公表されました

IPv6社会実装推進タスクフォース



概要
ABOUT TF

ニュース
NEWS

セミナー・イベント
SEMINAR・EVENT

活動報告等
ACTIVITIES

参加団体
MEMBER

よくある質問
FAQ

ISPの方へ
FOR ISP

CATVの方へ
FOR CATV

IDCの方へ
FOR IDC

ASP/GSPの方へ
FOR ASP/GSP

ユーザの方へ
FOR USERS

その他の方へ
FOR OTHERS

ニュース
NEWS

NEWS

IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ ～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実装の推進へ～

2018年11月25日
報道関係各位

2011年4月のアジア太平洋地域におけるIPv4アドレス在庫枯渇を迎えるにあたり、2008年9月に総務省及びインターネットと通信サービスに関係する21団体によって構成された業界横断的なタスクフォースである、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（代表：江戸川IPv6普及・高度化推進協議会等理事長/東京大学）を、新にIPv6を基盤とするビジネス環境整備を目指した「IPv6社会実装推進タスクフォース」に改名いたします。

IPv6社会実装推進タスクフォースの前身である、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（以下、枯渇TF）は、2008年9月に発足し、総務省及びインターネットと通信サービスに関係する21団体によって構成された業界横断的なタスクフォースであり、IPv4アドレスの未分配在庫が枯渇する局面を避脱なく迎え、円滑なIPv6インターネットの導入を実現するために、IPv6の導入推進に係るアクションプランの制定・普及、テストベッドや教育プログラムの推進、各種情報のタイムリーな発信・展開などの活動に取り組んでまいりました。

IPv4アドレスの未分配在庫が枯渇した2011年を挟んで、枯渇TF発足から10年が経とうとしている今日まで、サーバやネットワーク機器におけるIPv6対応、ブロードバンドや携帯電話キャリアにおけるIPv6サービスの普及など、IPv6インターネットの拡大は進んでいるものの、未だにインターネット上の通信トラフィックの大半はIPv4であることは変わらないため、新しいサービスの基盤がIPv4で構築され続けているのが現状であり、事業者におけるIPv4アドレス調達の実現性、設備や運用における二重のコスト負担などが、好ましくない状況が続いています。

IoTを始めとする新たな技術の出現により、インターネットが更に大きくその有りようを変えつつある今、IPv6の利用を当たり前のインターネット、IPv6インターネットを基盤とした社会を実現して行くことが求められています。

また、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）達成にあたりインターネットの有効活用が前提となる中、米国をはじめ、中国、インドもIPv6への対応を急進に迫っている一方で、日本では新たな通信基盤への対応意欲が低く、経済発展を阻害する要因にもなりかねない状況とも言えます。

枯渇TFの参加団体はこの認識に基づき、IPv6社会実装推進タスクフォースと改名し、ここに新たなチャーター（活動指針）を設定して活動を推進するとともに、社会実装をより広範囲に展開すべく、あらゆるセクターの参画を促しています。

○IPv6社会実装推進タスクフォース活動指針

- IPv6を基盤とするビジネス環境を整備すべく、2025年までにIPv4に頼らない持続可能な技術的、社会的、経済的基盤を確立することをゴールとして目指す。

多くのシステムのIPv4運用傾向を相減すること、より安全なインフラストラクチャとなるよう、機密、運用ノウハウのマルチステークホルダーによる共有、実験・検証環境の提供、人材育成のための教育プログラムの企画や運営などを行う。

- 現在インターネット上で展開されているビジネスやサービス、アプリケーションが、今後のIPv6を基盤としたビジネス環境へ移行可能であるかあらゆるステークホルダーとともに検証、共有する。

○想定している活動

- 通信事業者及び関連団体の対応進捗状況の把握
- 関連団体、組織への普及と情報提供
- IPv6シングルスタック検証環境の構築
- IPv6教育プログラム、セミナーの企画、推進
- IPv6シングルスタック検証環境等を活用したビジネス継続性評価
- 産業界、経済全体への啓発、促進
- IPv6対応遅延な業界等の買い出しと対応策の提供

その他に、国内外のIPv6動向把握および日本から世界に向けた情報発信を道行していく。

IPv4アドレスの
在庫枯渇とは
WHAT'S IPv4
EXHAUSTION

ニュースリスト

- 日本におけるIPv6普及率について
～固定アクセス網50%超、携帯電話も17%に達する～
- IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ
～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実装の推進へ～
- World IPv6 Launch 6周年と日本のIPv6普及状況
- 日本におけるIPv6アクセス網の普及率が30%を突破
日本におけるIPv6アクセス網の普及率が20%を突破
- IPv6のさらなる普及と展開に向けた報告会の実施について
- 「日本再興戦略2016」においてIPv6対応促進が盛り込まれる
- 「IoTネットワークポラリティ・イノベーション」の推進
- 「IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会」第4次報告書が公表されました

17 Oct 2019

JANOG44.5 Interim 2019 - JDCC IPv6 WG

9

IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ
～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実装の推進へ～

2018年11月26

超常關係條件

2011年4日の

2011年4月のアジア太平洋地域におけるIPv4アドレス在庫枯渇を迎えるにあたり、2008年9月に総務省及びインターネットや通信サービスに関係する21団体によって構成された業界横断的なタスクフォースである、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（代表：江崎浩IPv6普及・高度化推進協議会専務理事/東京大学）を、新にIPv6を基調とするビジネス環境整備を目指した「**IPv6社会実装推進タスクフォース**」に改名いたします。

IPv4に頼らない(い)持続

確立することを目指

また、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）達成にあたりインターネットの有効活用が前提となる中、米国はもとより、中国、インドもIPv6への対応を急速に進めている一方で、日本では新たな通信基盤への対応意識が低く、経済発展を阻害する要因にもなりかねない状況とも言えます。

枯渇TFの参加団体はこの認識に立って、IPv6社会実装推進タスクフォースと改名し、ここに新たなチャーター（活動趣旨）を設定して活動を推進するとともに、社会実装をより広範に展開すべく、あらゆるセクターの参画を促していきます。

- IPv6を基調にするビジネス環境を整備すべく、2025年までにIPv4に頼らない持続可能な技術的、社会的、経済的基盤を確立することをゴールとして目指す。

すべてのシステムのIPv4運用賛否を削減することで、より安心安全なインフラストラクチャとなるよう、構築、運用ノウハウのマルチステークホルダによる共有、実験・検証環境の提供、人材育成のための教育プログラムの企画や運営などを行う。

- ・現在インターネット上で展開されているビジネスやサービス、アプリケーションが、今後のIPv6を基盤としたビジネス環境へ移行可能であるかあらゆるステークホルダとともに検証、共有する。

○規定している活動

- ・通信事業者及び関連団体の対応進捗状況の把握
- ・関連団体、組織への啓発と情報提供
- ・IPv6シングルスタック検証環境の構築
- ・IPv6教育プログラム、セミナーの企画、推進
- ・IPv6シングルスタック検証環境等を活用したビジネス継続性評価
- ・産業界、経済界全体への啓発、促進
- ・IPv6対応困難な業界等の洗い出しと対応策の提供

その他に、国内外のIPv6動向把握および日本から世界に向けた情報発信を適宜行っていく。

IPv4アドレスの
在庫枯渇とは



WHAT'S  **IPV4**
EXHAUSTION



～固定アクセス網50%
超、携帯電話も17%に

達する～

クフォー

～IPv4アドレス枯渇対

[応からIPv6社会実装の
推進へ～](#)

- World IPv6 Launch (2012年)
 - 国年と日本のIPv6普及率

同半と日本のIFVO普及状況

- 日本におけるIPv6アクセス網の普及率が30%

を突破

日本におけるIPv6アクセス網の普及率が20%

を突破

展開に向けた報告会の実施について

＞ [「日本再興戦略2016」](#)

においてIPv6対応促進
が盛り込まれる

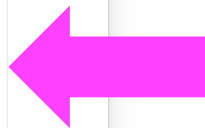
▶ [「IoTネットワークプロ](#)

[「グラミングワークショ
ップ」開催のご案内](#)

- ・「IPv6によるインターネットの利用高度化に

「日本学術振興会」第四次報告書が公表されまし、

2025年までにIPv4に頼らない状況



組織 ABOUT TF	ニュース NEWS	セミナー・イベント SEMINAR & EVENT	活動報告会等 ACTHVENOTES	参加団体 MEMBER	よくある質問 FAQ
ISPの方へ FOR ISP	CATVの方へ FOR CATV	IDOの方へ FOR IDO	ASP / ASP_CSP FOR ASP / CSP	ユーザの方へ FOR USERS	その他の方へ FOR OTHERS

ニュース

NEWS

IPv6社会実装推進タスクフォース設立のお知らせ～IPv4アドレス枯渇対応からIPv6社会実現へ～

報道関係各位、
2011年4月27日（木）に、インターネットの普及促進を図るため、政府、民間企業、学術機関、自治体などにより構成された業界横断的なタスクフォースとして、IPv6社会実装推進タスクフォースが正式に発足しました。このタスクフォースは、IPv6社会の実現に向けた取り組みを推進することを目的とし、IPv6社会実装推進タスクフォースのメンバーは、政府、民間企業、学術機関、自治体などから構成されています。

IPv6社会実装推進タスクフォースの前身である、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース（TF）は、2008年9月に発足し、網際層及びインターネット通信サービスに係る211団体によって構成された業界横断的なタスクフォースであり、IPv4アドレスの未分配在庫が枯渇する局面を避えるべく、円滑なIPv6インターネットの導入を実現するために、IPv6の導入促進に係るアクションプランの制定、普及、テストベッドや教育プログラムの推進、各種情報のタイムリーな発信・展開などの活動に取り組みしてきました。

IPv4アドレス枯渇在庫が減少傾向にある中、IPv4アドレス枯渇対応タスクフォースが発足から10年が経ちとうとう「枯渇」の危機を迎えています。このままでは、インターネットの利用が制限されることになり、経済活動にも大きな影響を与えます。新しいIPv6社会への移行は、IPv4アドレス枯渇の危機を回避するための唯一の方法です。

また、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）達成にあたりインターネットの有効活用が前提となる中、米国でもより、中国、インドもIPv6への対応を急速に進めている一方で、日本では新たな通信基盤への対応意識が低く、経済発展を阻害する要因にもなりかねない状況とも見えます。

格別ITFの参加団体のこの認識に立って、IPv6社会実装推進タスクフォースと改称し、ここに新たにチャーター（活動憲章）を設定して活動を推進するとともに、社会実装をより広範に展開すべく、あらゆるセクターの参画を促していきます。

- ① IPv6の社会実装推進タスクフォースの取組目標
 - IPv6を基礎にしたビジネス環境を整備することで、2025年までにIPv4に頼らない持続可能な技術的、社会的、経済的發展を確立することをゴールとして目指す。
- ② 本TFの活動方針
 - 全てのステークホルダー間の連携関係を構築することで、より具体的なロードマップとロードマップとなるよう、機運、資源の両方のマルチステークホルダーによる共有、実験・検証環境の提供、人材育成のための教育プログラムの企画や運営などを行う。
 - 現在インターネット上で展開されているビジネスモデル、アプリケーションが、今後のIPv6を基礎としたビジネス環境へ移行可能であるあらゆるステークホルダーとともに検証、共有する。

○想定している活動

- 関連事業者及び関連団体の対応進捗状況の把握
- 関連団体、組織への啓発と情報提供
- IPv6シングルスタック検証環境の構築
- IPv6教育プログラム、セミナーの企画、推進
- IPv6シングルスタック検証環境等を活用したビジネス継続性評価
- 産業界、経済界全体への啓発、促進
- IPv6対応国際標準業界等の出し入れと対応策の提供

その他に、国内外のIPv6動向把握および日本から世界に向けた情報発信を速行していく。

右側の図表は「World IPv6 Launch 6周年記念の普及率と状況」を示しています。上部の表は「日本におけるIPv6普及率」と題され、2011年から2016年までのデータが示されています。下部の表は「World IPv6 Launch 6周年記念の普及率と状況」と題され、2011年から2016年までのデータが示されています。

国	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
日本	0%	0%	0%	0%	0%	0%
韓国	0%	0%	0%	0%	0%	0%
台湾	0%	0%	0%	0%	0%	0%
中国	0%	0%	0%	0%	0%	0%
インドネシア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ブラジル	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ロシア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
アメリカ合衆国	0%	0%	0%	0%	0%	0%
フランス	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ドイツ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
イタリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
スペイン	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ポランド	0%	0%	0%	0%	0%	0%
オランダ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ベルギー	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ルクセンブルグ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ギリシャ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
トルコ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
イスラエル	0%	0%	0%	0%	0%	0%
エジプト	0%	0%	0%	0%	0%	0%
サウジアラビア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
カタール	0%	0%	0%	0%	0%	0%
クウェート	0%	0%	0%	0%	0%	0%
バーレーン	0%	0%	0%	0%	0%	0%
アラブ首長国連邦	0%	0%	0%	0%	0%	0%
オマーン	0%	0%	0%	0%	0%	0%
モロッコ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
チュニジア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
アルジェリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
リビア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
シリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
イラク	0%	0%	0%	0%	0%	0%
パキスタン	0%	0%	0%	0%	0%	0%
アフガニスタン	0%	0%	0%	0%	0%	0%
バングラデシュ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ミャンマー	0%	0%	0%	0%	0%	0%
タイ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ベトナム	0%	0%	0%	0%	0%	0%
カンボジア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ラオス	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ミクロネシア	0%	0%	0%	0%	0%	0%
マーシャル諸島	0%	0%	0%	0%	0%	0%
モンゴロ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
北マリアナ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
北マリアナ	0%	0%	0%	0%	0%	0%
北マリアナ	0%	0%	0%	0%		

[illegible]

JDCC



JDCCとは？

IT立国の基盤を支えるデータセンターのあるべき姿を推進する

10th JDCC Japan Data Center Council

ENGLISH JDCC English Page

会員専用サイト ログイン

ホーム ニュース 日本データセンター協会について 活動内容の紹介 会員一覧 入会について お問い合わせ

日本データセンター協会
Japan Data Center Council

日本データセンター協会では、東日本大震災による被災地の復興を祈念するとともに、復興を支援します。

データセンターってなに？ 編
詳しくはこちら

環境への取り組み 編
詳しくはこちら

歩みをとめない！
Keep Walking, Japan
Japan Data Center Council
日本データセンター協会

JDCCの活動内容の紹介

JDCCは日本のデータセンター事業の強化・発展に寄与するために活用しています。

データセンターとは

データセンター一覧

JDCC研修

フューチャーセンター

ファシリティスタンダードおよびPUE測定・計算ガイドラインの購入/ダイジェスト版(無料)の入手

環境に優しいデータセンター認定制度

トピックス

最新ニュース RSS

トピックス一覧

2019/08/09 トピックス 事務局 夏季休業のお知らせ (2019年8月10日～2019年8月20日)

2019/07/29 トピックス JDCC研修 2019年度「事例ベースのサービス品質管理講座」募集開始

2019/06/07 トピックス JDCC研修 2019年度「リーダーのための運用レベルアップ講座」募集開始

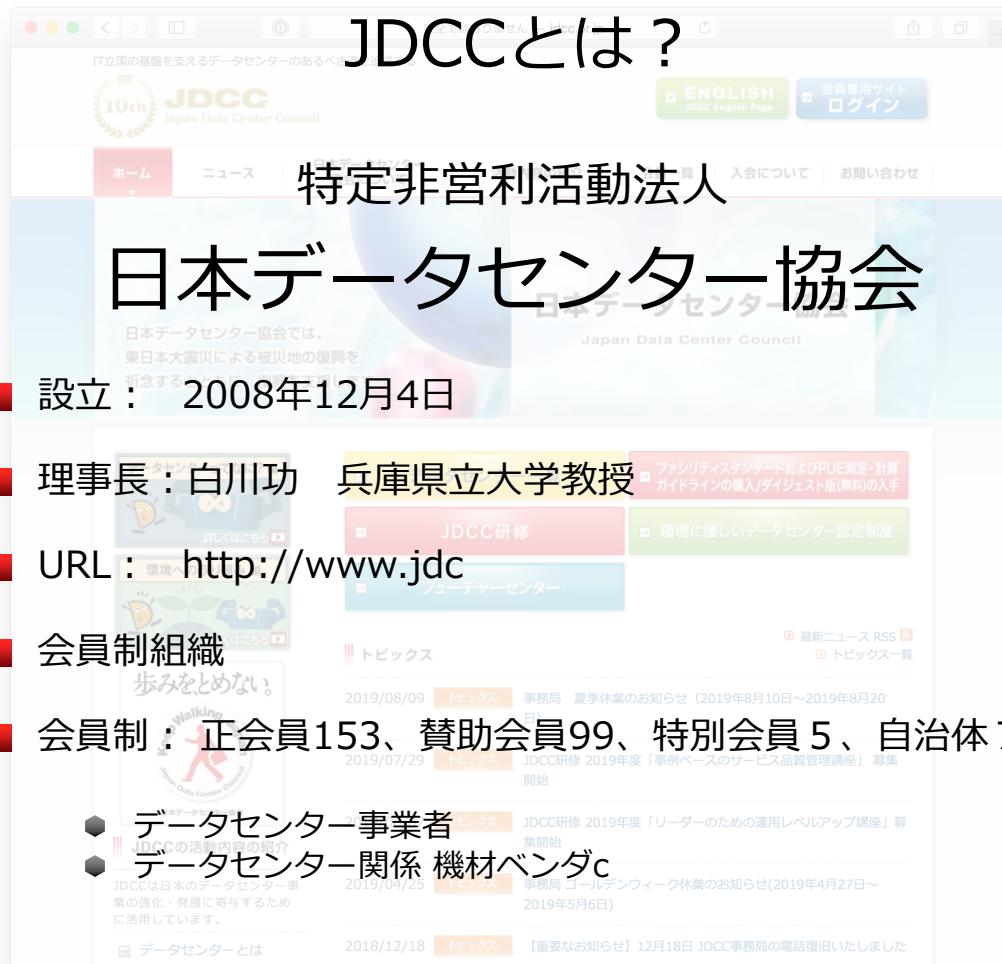
2019/04/25 トピックス 事務局 ゴールデンウィーク休業のお知らせ(2019年4月27日～2019年5月6日)

2018/12/18 トピックス 【重要なお知らせ】12月18日 JDCC事務局の電話復旧いたしました



日本データセンター協会

Japan Data Center Council



JDCCとは？

特定非営利活動法人

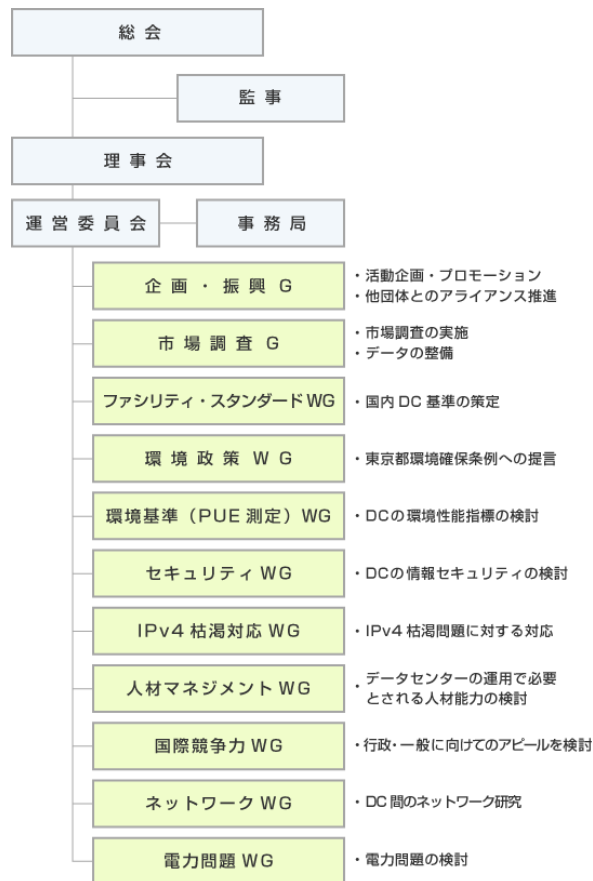
日本データセンター協会

日本データセンター協会では、東日本大震災による被災地の復興を祈念する

Japan Data Center Council

- 設立： 2008年12月4日
- 理事長： 白川功 兵庫県立大学教授
- URL： <http://www.jdc>
- 会員制組織
- 会員制： 正会員153、賛助会員99、特別会員 5、自治体7
 - データセンター事業者
 - データセンター関係 機材ベンダc

JDCCとは？（組織図）



2012年4月現在

ニュース

2019年9月12日 JDCC理事会において

コンテンツ配信基盤 IPv6化検討WG

・・・の発足が正式決定されました。

コンテンツ配信基盤 IPv6化検討WG

コンテンツ配信基盤 IPv6化**検討**WG

コンテンツ配信基盤 IPv6化 **検討** WG

コンテンツ配信基盤 IPv6化 **検討** WG

IPv6化 検討 WG

「IPv6化検討」 ≠ 「IPv6推進」

なぜ「IPv6化検討」なのか？

- ✓ コンテンツ提供事業者側では、IPv6にネガティブな意見が多い
- ✓ 「このグループに参加すると、IPv6化を**強制**される」と誤解されたくない
- ✓ IPv6化は、個々のコンテンツ提供事業者の判断にまかせるべき
- ✓ ・ ・ ・ とはいえ、コンテンツ提供事業者側の人達を多く巻き込みたい
- ✓ 情報収集のための参加は歓迎

コンテンツ配信基盤 IPv6化**検討**WG

そもそも、なぜJDCC？

■ Because . . .

◆ コンテンツ事業者の方と密なつながりがある事業は . . .

→ 「データセンター事業」「クラウド事業」

◆ 「データセンター事業者、クラウド事業者の集まり」は . . .

→ JDCC

◆ 長年にわたり懸念となっている事案の議論をするには . . .

→ 業界団体として活動が活発なJDCC

設立趣意

- (データセンターにとってお客様である) コンテンツ提供事業者の方々が・・・
 - ◆ IPv6 化を行う時に、役立つことをやるためのWG
 - ◆ 過去のIPv6のノウハウなどが正しく伝わっていない可能性があるので、情報交換の場としてのWG
 - ◆ IPv6 化の実現に向けて、まとまって行動・発言するきっかけとしてのWG

通常のJDCCのWGは会員専用ですが・・・。

「コンテンツ配信基盤 IPv6化検討WG」は
参加はオープン

どなたでも参加できます

参加者

■ コンテンツ提供事業者

- アクセス網ユーザに対してコンテンツを提供している事業者
(ゲーム、Webサービス、・・・)
- 基本的にオープン

■ JDCC会員

- コンテンツ提供事業者へのサービス提供者

■ 関係団体

- IPv6社会実装推進TF、JAIPA、IPoE協議会、・・・

■ ゲスト

- 必要に応じたスペシャリストを招聘

活動内容

- ✓ 情報交換 (Slack)
- ✓ 情報交換 (定期的なミーティング)
- ✓ 情報交換 (懇親会)
- ✓ (適宜集まっでの) 実験 or ハッカソン
- ✓ その他：他の団体・法人との連携を行い業界全体としてIPv6を促進する。
(JAIPA、IPoE協議会、JPNIC、IPv6普及・高度化推進協議会)

slack

■ 名称

◆ ipv6-wg . . . 参加されたい方は関係者まで

■ 運営方針

※全メンバーに守っていただきたいこと

- ◆ チャタムハウスルール
- ◆ 前向きで協力的な運営

ミーティング・プログラム（例）

- ✓ コンテンツ提供事業者のIPv6化の実例
- ✓ IPv6での geolocation の現実
- ✓ ログ処理の実際
- ✓ IPv6シングルスタック運用
- ✓ 政治層とIPv6の関係
- ✓ . . .

※プログラムは、コンテンツ提供事業者の方々が興味の手てるもの

ミーティング・スケジュール

■ ~~第0回 . . . 2019/8/23 (金)~~

■ ~~第1回 . . . 2019/10/9 (水)~~

■ 第2回 . . . 2019/11/20 (水)

■ 第3回 . . . 2019/12/18 (水)

※IPv6-WG の slack にて、アナウンスさせていただきます。

サーバインフラに関する
皆様の御参加をお待ち
しております！

ipv6-wg.slack.com

